

社会資本総合整備計画

平成27年10月19日

計画の名称	岩国市における拠点施設周辺の安心・安全な住環境の整備															
計画の期間	平成24年度 ～ 平成28年度（5年間）					交付対象		岩国市								
計画の目標																
・岩国飛行場（米海兵隊岩国航空基地、海上自衛隊岩国航空基地）周辺の川下地区に多数ある狭あい道路の拡幅整備等を実施し、防災性を向上させることで安心・安全な住環境の整備を図る。 ・観光拠点である錦帯橋周辺地区について、歴史的まちなみを維持しながら街なみ環境の整備を行い、歴史・風土に調和した安全で活力ある居住環境の向上を図る。 ・都市拠点である岩国駅周辺地区について、市街地における建築活動等の適切な誘導を図ることにより良好なまちなみ形成を促進し、安心・安全な市街地環境の向上を図る。																
計画の成果目標（定量的指標）																
・狭あい道路の解消を進め、川下地区における幅員4 m以上の規格改良済道路率（％）の向上を図る。 ・街なみ環境の整備により、錦帯橋周辺を訪れる観光客の滞在時間の増加を図る。																
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値		備考					
		当初現況値		中間目標値		最終目標値										
		H24年度				H28年度										
川下地区内における道路台帳の実延長に対する幅員4 m以上の規格改良延長の割合：76.2％（平成24年度）→77.2％（平成25年度） （幅員4 m以上の規格改良済道路率）＝（幅員4 m以上の規格改良済道路延長）／（道路台帳における地区内の狭あい道路の実延長）		76.2％		－		(H25年度) 77.2％										
毎年実施している「観光動態調査」における日帰り観光客の滞在時間に関するアンケート結果 錦帯橋周辺に2時間以上滞在する観光客の割合：50.5％（平成22年度）→60％（平成28年度）		(H22年度) 50.5％		－		60％										
全体事業費	合計 （A＋B＋C）	423 百万円	A	412 百万円	B	0 百万円	C	11 百万円	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）	2.6％						
交付対象事業																
A 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考
											H24	H25	H26	H27	H28	
1-A-1	住宅	一般	岩国市	直接	岩国市			狭あい道路整備等促進事業	建築後退に伴う道路用地の取得・測量・分筆・舗装工事等	岩国市					60	
1-A-2	住宅	一般	岩国市	直接 間接	岩国市 民 間			岩国・横山地区街なみ環境整備事業	整備方針・整備計画等策定、修景施設、生活環境施設整備等	岩国市					349	
1-A-3	住宅	一般	岩国市	間接	民 間			基本計画等作成等事業	良好なまちなみ形成の推進方策等の検討	岩国市					3	
											合計				412	
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略工種	要素となる事業名		事業内容 （延長・面積等）	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考
											H24	H25	H26	H27	H28	
															0	
											合計				0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略工種	要素となる事業名		事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考
											H24	H25	H26	H27	H28	
1-C-1	住宅	一般	岩国市	間接	民間		工作物修景事業		工作物に対する修景事業	岩国市					10	
1-C-2	住宅	一般	岩国市	直接	岩国市		修景内容検討事業		修景事業に伴う専門家意見聴取	岩国市					1	
											合計				11	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
1-C-1	工作物に対しても景観に配慮した修景事業を実施することにより、建築物と調和した、一体的なまちづくり事業が期待される。															
1-C-2	修景事業実施において専門家のアドバイスを取り入れることにより、建物本来の良さをいかした修景誘導につながる。															